

本会の更なる発展のために、会員に対し、本学会活動に関する満足度とニーズを把握する調査を行った。調査結果は、会員のニーズに即した新たな取り組みや既存事業の見直し等の検討に活用していく。

【調査方法】

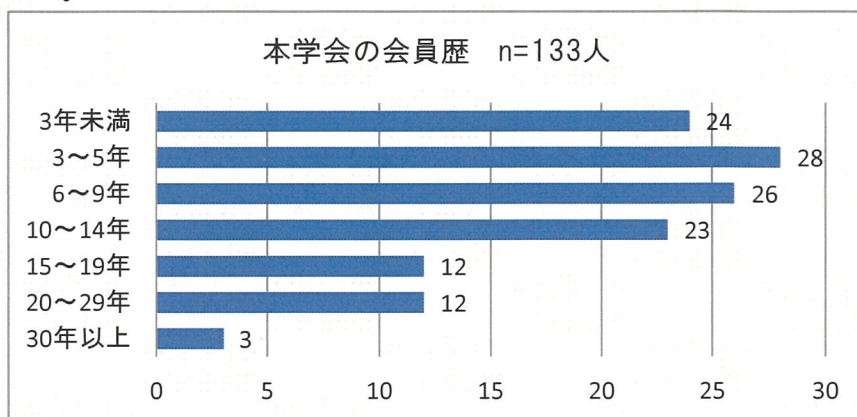
スマートフォン等でGoogle Formsサイトにアクセスし回答を得た。実施期間は、2024年4月1日～4月22日。回答は無記名とし、単一回答と複数回答の選択肢と自由記載によって構成した。

※調査時の個人会員数524人、施設会員15施設（施設代表者が5人を選出 総計75人） 合計599人

※回答数133人（回答率 22.2%）

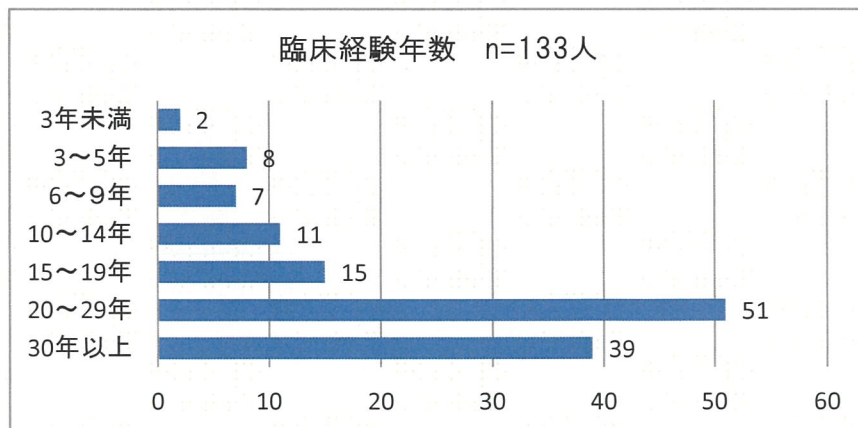
設問1. 本学会の会員歴について、ご回答ください。

会員歴9年以下の会員が58.6%を占めている。一方で15年以上会員継続をしている会員が20.3%を占めている。



設問2. 臨床経験年数について、ご回答ください。

臨床経験20年以上の会員が67.6%を占め、本学会は経験豊かな中堅看護師以上の会員が多いと言える。



設問3. あなたの職種について、ご回答ください。

会員の職種は看護師が92.4%である。

職種	人数 (人)
看護師	123
介護職	6
教員	2
保健師	1
理学療法士	1

設問4. あなたの保有している資格 重複回答あり (※看護師の方のみ)

n=123

資格	(人)
回復期リハビリテーション認定看護師	18
認定看護管理者	15
脳卒中リハビリテーション認定看護師	13
慢性疾患看護専門看護師	1
摂食嚥下障害看護認定看護師	1
NST専門療法士	1
感染管理認定看護師	1
感染症看護専門看護師	1
学会認定難病看護師	1
不明	5

設問5. 現在の主たる所属についてご回答ください。

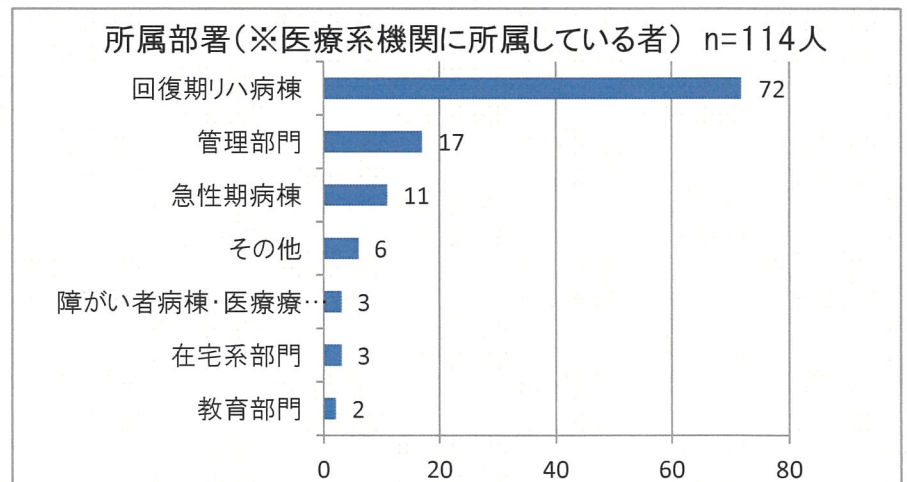
n=133

医療系機関に所属している会員は85.7%である。

所属	(人)
医療系機関	114
教育機関	13
介護系機関	2
自立支援施設	1
訪問看護	1
所属なし	2

設問6. 現在の主たる所属部署(※医療系機関に所属している方のみ)

医療系機関に所属している会員のうち、63.2%は回復期リハビリテーション病棟に所属している。



設問7. 現在の主たる所属部署(介護・施設系に所属している方のみ)

n=3

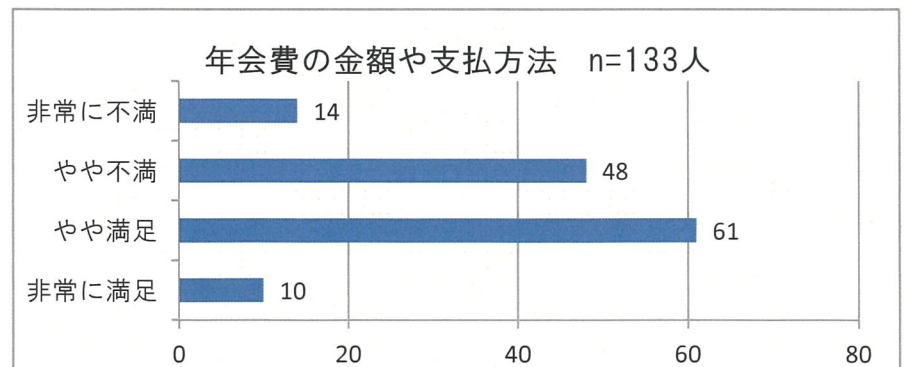
所属	(人)
介護老人保健施設	1
回復期リハ病棟	1

設問8. 本学会の事業内容の満足度について、ご回答ください

1) 年会費の金額や支払方法について

満身に思っている会員53.9%

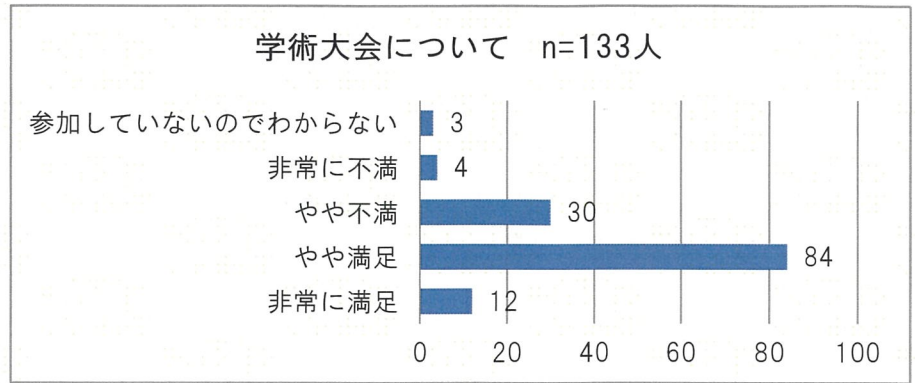
不満に思っている会員46.6%



2) 学術大会について

満足に思っている会員72.1%
不満に思っている会員25.5%

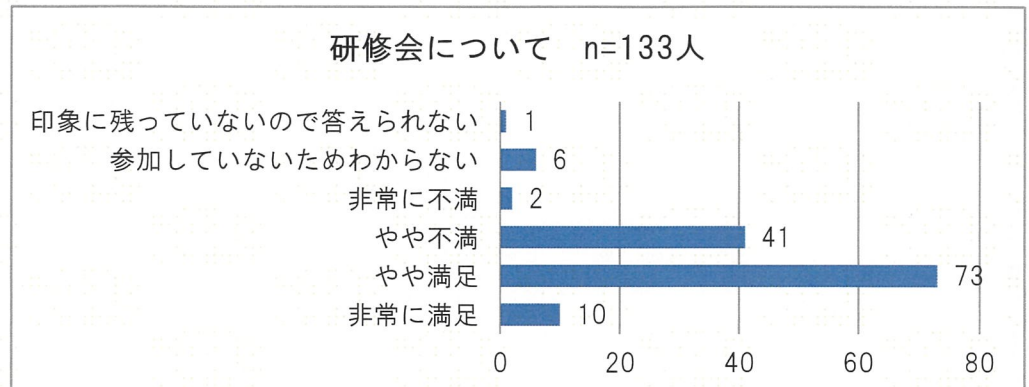
一方で、「参加していないのでわからない」との回答もあった。



3) 研修会について

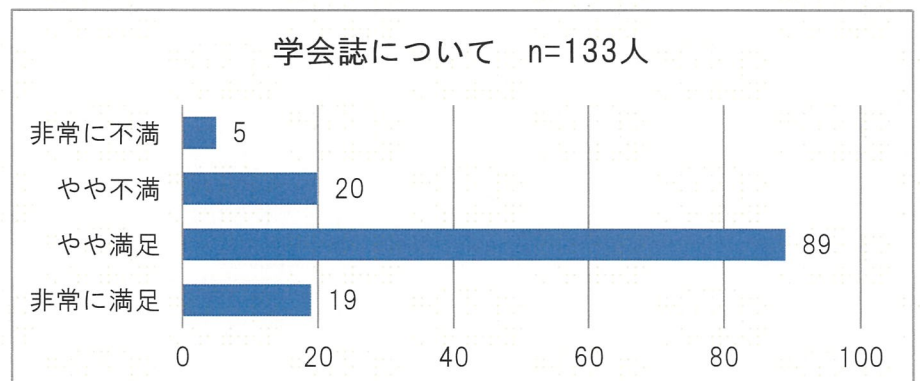
満足に思っている会員
62.4%
不満に思っている会員
32.3%

「参加していないのでわからない」「印象に残っていない」の回答もあった。



4) 学会誌について

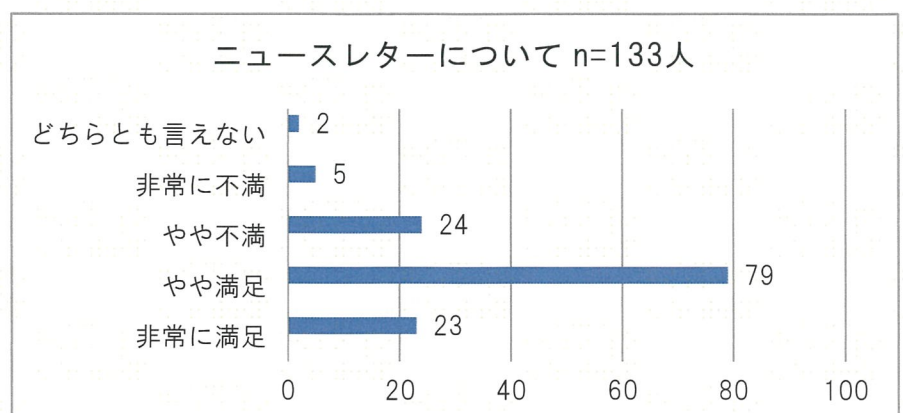
満足に思っている会員81.2%
不満に思っている会員18.7%



設問9. 本学会の広報について

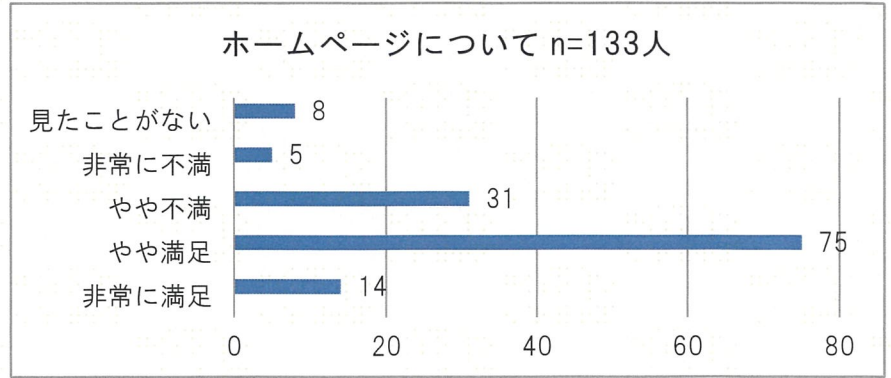
1) ニュースレターについて

満足に思っている会員76.6%
不満に思っている会員21.8%



2) ホームページについて

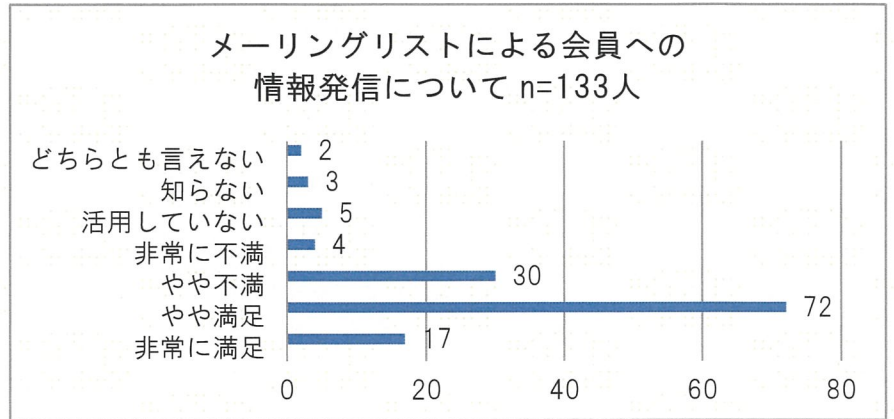
満足に思っている会員66.9%
 不満に思っている会員27%



3) メーリングリストによる会員への情報発信について

満足に思っている会員66.9%
 不満に思っている会員25.5%

「活用していない」「知らない」と言う
 回答も少なくない。



設問10. 本学会ホームページ掲載の「リハビリ看護情報」の活用状況について

1) クリニカルラダーを使用しているか

71.4%の会員はクリニカルラダーを使用している

項目	人数 (n=133)
使用している	95
使用していない	35
準備・検討中	3

2) 本学会の「リハビリテーション看護クリニカルラダー」を知っているか

43.6%の会員は本学会の「リハビリテーション看護クリニカルラダー」を知らない。

項目	人数 (n=133)
知っている	75
知らない	58

3) 本学会の「リハビリテーション看護クリニカルラダー」を活用しているか

本学会の「リハビリテーション看護クリニカルラダー」を知っている者の中で、40%は活用している。

項目	人数 (n=75)
活用している	30
活用していない	36
準備・検討中	9

4) 本学会の「リハビリテーション看護クリニカルラダー」と貴施設のクリニカルラダーの整合性について

本学会の「リハビリテーション看護クリニカルラダー」を知っている者の中で、86.6%は施設のクリニカルラダーと整合性がある

項目	人数 (n=75)
ラダーレベルに差異はなく妥当である	65
ラダーレベルに差異がある	10

※ラダーレベルに差異があると答えた方へどのような差異があるか

n=10

項目	人数 (n=10)
自施設ではラダーを作成していない	2
自施設のラダーレベルより高い	1
自施設ではリハビリ看護的な内容が入っていない	1
自施設独自のラダーを取り入れている	1
ラダーの段階数が違う	1
無回答	4

5) 本学会の「リハビリテーション看護クリニカルラダー」は実践能力向上や研修参加の役に立っているか

n=75

本学会の「リハビリテーション看護クリニカルラダー」を知っている者の中で、45.3%は活用していないのでわからないと回答している。

項目	(人)
役に立っている	38
活用していないのでわからない	34
役に立っていない	3

6) 本学会の「リハビリテーション看護実践能力」「リハビリテーション看護のキャリア発達のめやす」について

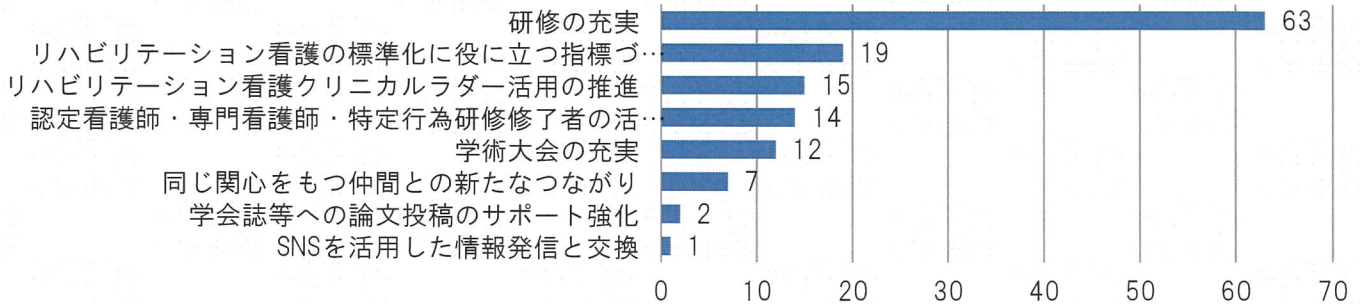
n=133

本学会の「リハビリテーション看護実践能力」「リハビリテーション看護のキャリア発達のめやす」は、38.3%が知っていると回答しているが、知らない・無回答が61.6%である。

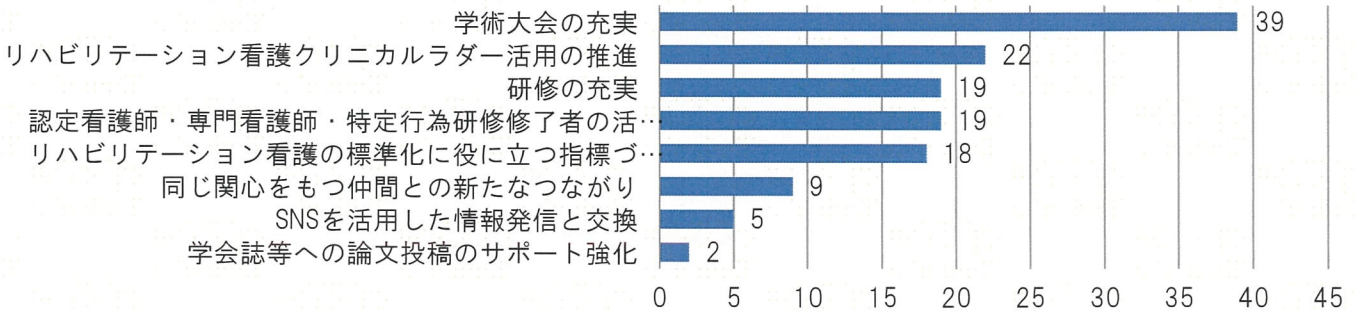
項目	(人)
知っている	51
知らない	24
無回答	58

設問11. 今後の本学会に期待すること(上位3つを選択)

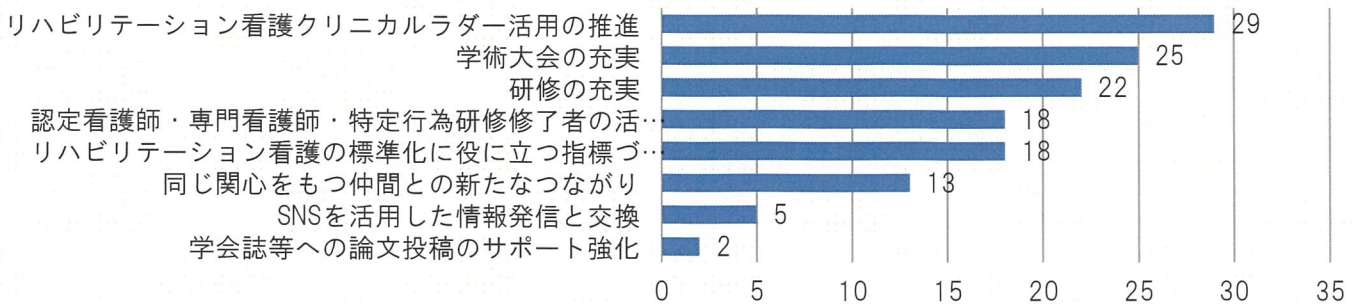
本学会に期待すること 1位

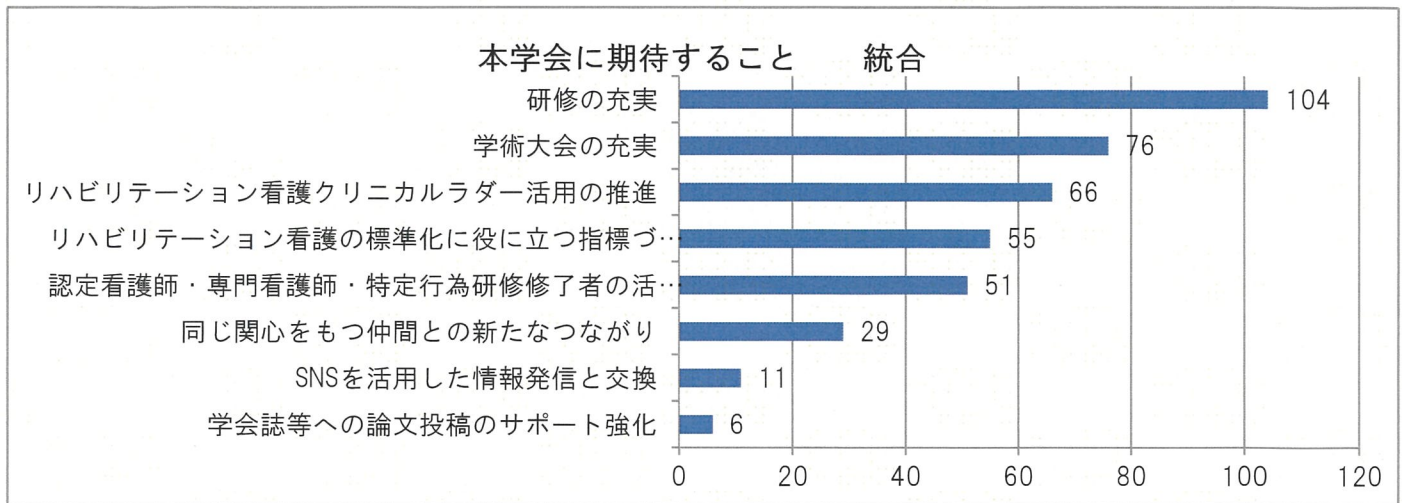


本学会に期待すること 2位



本学会に期待すること 3位





会員が、本学会に期待していることの上位3つは

- 1位「研修の充実」
- 2位「学術大会の充実」
- 3位「リハビリテーション看護クリニカルラダー活用の推進」である。

設問12. その他、本学会へのご意見やご提案等について(自由記載)

設問12.の記載は18件あった。最も多かった意見は、研修会への要望であり、クリニカルラダーに応じた実践能力を伸ばせる研修、リハ看護の実践を発信する魅力ある研修の開催、次世代の看護師育成に向けた研修会開催の要望があった。

また、本学会はリハ看護の魅力を発信する唯一の学会であり学術大会の内容の充実や、オンラインの利便性はあるもののオンサイトの現地開催やオンデマンドで利用できる研修開催の要望もあった。

次に多かった意見は情報発信に関するもので、会員メリットが感じられるホームページコンテンツ、関連学会へリンクするコンテンツ、震災支援活動や研修会開催の情報がタイムリーに発信・配信される工夫等の要望があった。入会や年会費に関しては、年会費が高額であるという意見が多数を占めた。他に会費に値する会員特典や入会方法に関するもの、多職種が関わり興味を持てるような研修や学術大会の開催要望があった。更に、回復期リハビリテーション病棟の重症割合は増している一方看護師配置基準に変わらないという現状に対し、本学会の見解や何らかのアクションを期待する意見があった。

【総括】

本アンケートは133名(22.2%)の会員から回答を得ることができた。回答をいただいた会員は、中堅看護師以上の看護師で回復期リハビリテーション病棟に所属していた。会員歴は短い者・20年以上の長く在籍している者が同じ程度の割合で、回復期リハビリテーション病棟への異動や認定看護師の取得後に入会した看護師がいることが推察される。また、本学会活動へ期待している内容は、本学会が推進している活動(研修会運営、学術大会の運営・研究活動支援)と一致していた。今後の学会運営に関し、魅力あるリハビリテーション看護を軸に学会活動の情報発信を期待や診療報酬改定に関する本学会の見解を期待する声が寄せられた。寄せられた声を次の活動に反映させていくと共に、ご回答いただいた方へ心よりご協力への感謝を申し上げます。